主な過去災害事例集

令和8年（2026年）8月29～30日

「停滞前線による嶺北での記録的な大雨」

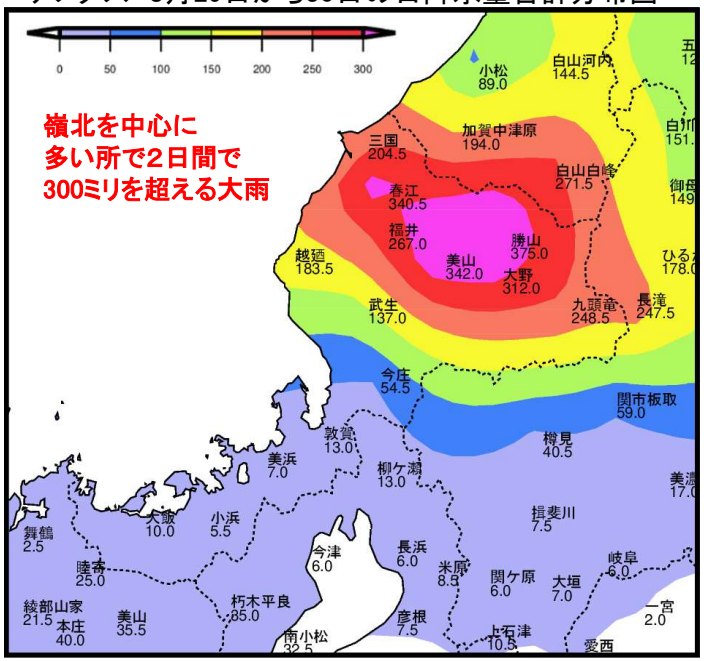
レベル5大雨特別警報
嶺北各地で大規模な浸水害などの発生.

停滞前線により嶺北で記録的な大雨

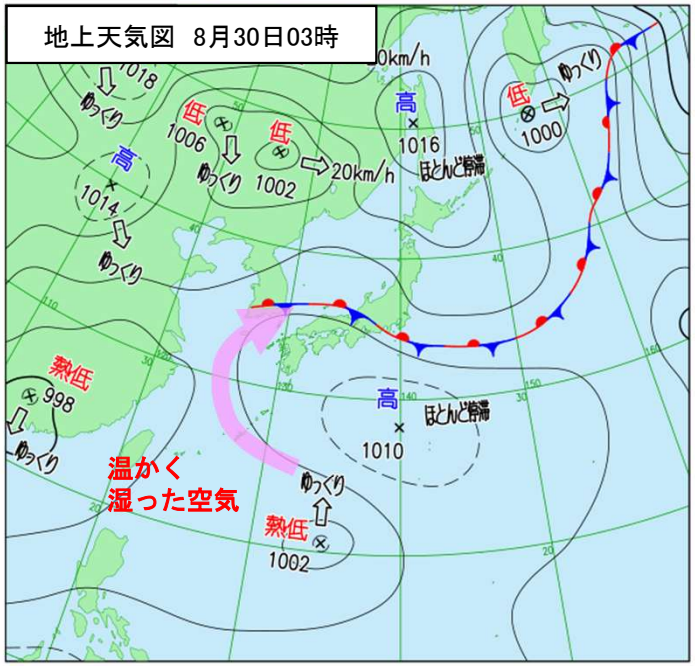
【気象概況】
8 月29 日から 30 日にかけて、前線が福井県付近に停滞し、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定となった。このため嶺北を中心に29日夜のはじめ頃から30日朝にかけて激しい雨が継続、特に30日未明は非常に激しい雨となった。

【観測記録】
日降水量は、三国140.0ミリ（29日）、春江175.0ミリ（29日）、越廼131.5 ミリ（30 日）、美山251.5ミリ（30日）、勝山233.0ミリ（30日）で日降水量の8月としての１位の値を更新した。あわせて、春江、勝山では年としての１位の値を更新した。

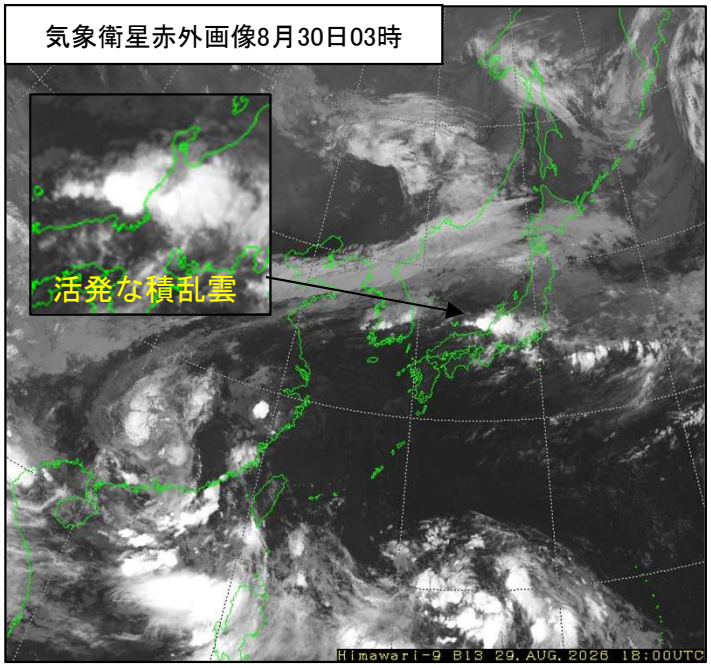
アメダス　8月29日から30日の日降水量合計分布図



地上天気図　8月30日03時



気象衛星赤外画像8月30日03時



浸水した福井空港周辺

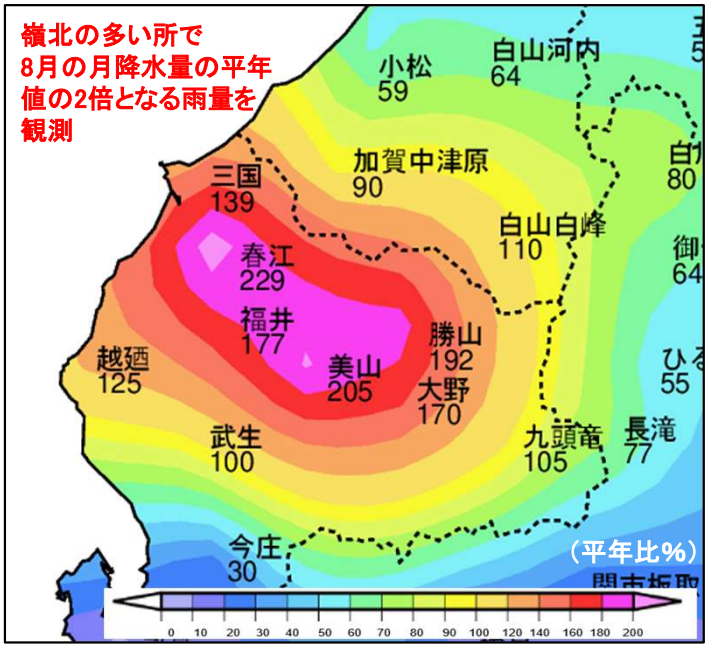


詳細は「令和8年8月29日から30日にかけての大雨に関する福井県気象速報」をご覧ください。

レベル5大雨特別警報

【大雨特別警報】
　嶺北では8月29日から30日にかけて記録的な大雨となり、特に福井、春江、美山、勝山、大野では月最大24時間降水量が観測史上1位の値を観測しました。これらの地点では、24時間でこの期間の大半の雨が降り、8月の月降水量値の平年値の2倍を超える大雨となりました。
　このため、数十年に一度の、これまでに経験したことのないような、重大な危険が差し迫った状況となったため、30日04時30分に大雨特別警報を発表、その後、06時30分には記者会見を開催し、最大級の警戒や市町の発表する避難情報に注目するよう呼びかけました。

アメダス日降水量8月29日～30日合計と
8月の月降水量平年値との比較（平年比%）



・主な被害状況

人的被害　軽傷　3名

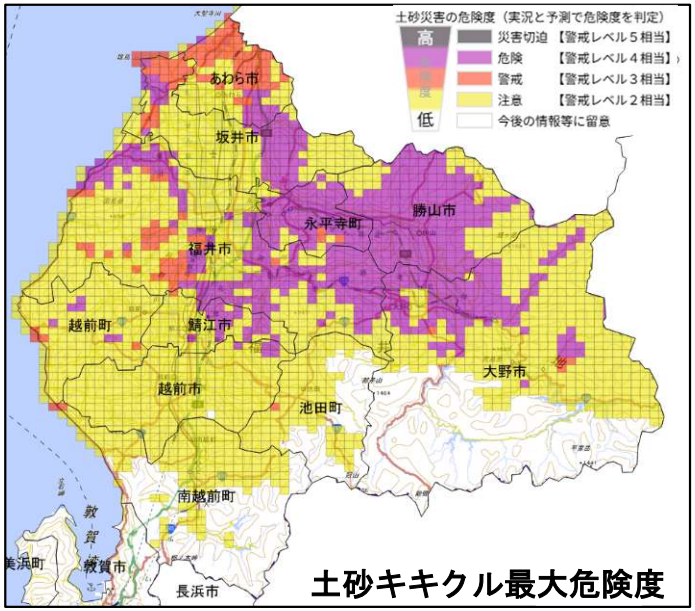
物的被害　住家一部損壊3棟
　　住家浸水 床上221棟　床下 1437棟

河川被害
　　溢水、越水、内水氾濫18河川、21カ所
　　護岸損傷等45河川、326カ所

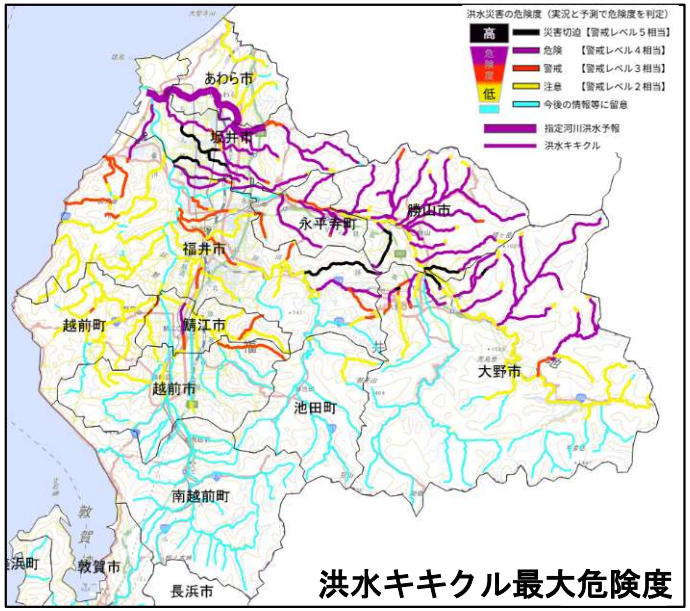
農業被害
　　農地被害面積　1816ha
　　耕土流亡、畔の崩壊659カ所など

・主な観測史上1位の値　いずれも30日に観測

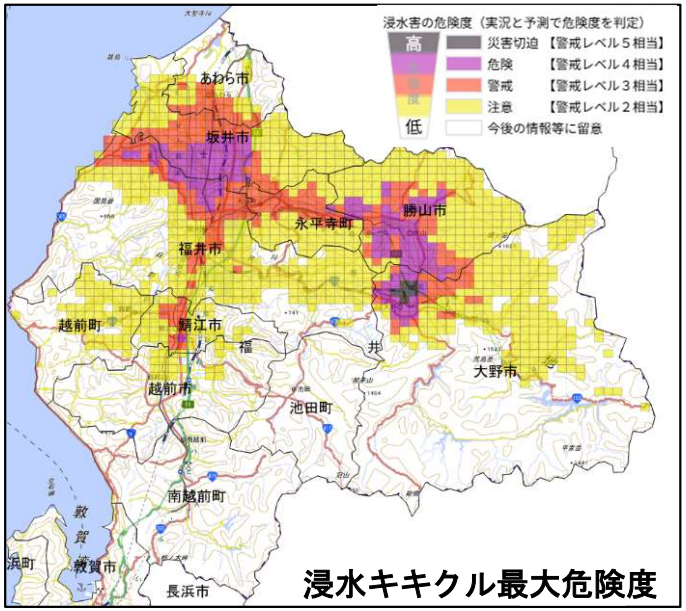
地点名	要素名	雨量ミリ	年統計開始年
福井	月最大24時間降水量	233.0	1976年～
春江	日降水量	175.0	2003年～
春江	日最大1時間降水量	57.0	2003年～
春江	月最大24時間降水量	314.0	2003年～
美山	月最大24時間降水量	318.0	1976年～
勝山	日降水量	233.0	1993年～
勝山	月最大24時間降水量	350.5	1993年～
大野	月最大24時間降水量	281.0	1976年～



土砂キキクル最大危険度



洪水キキクル最大危険度



浸水キキクル最大危険度

＊最大危険度は予測を含んだものですので、必ずしも実際の警報等に整合するものではありません。地図出典：地理院タイルを加工して使用